

宇治市公共下水道事業経営戦略
宇治市公共下水道整備・再構築計画
中間見直し

令和8年3月

宇治市

計画の見直しにあたって

- 令和3年3月に10年間を計画期間とした「宇治市公共下水道事業経営戦略」および「宇治市公共下水道整備・再構築計画」（以下、「本計画」という。）を策定し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るとともに、浸水防除を目的として事業を推進してきました。
- 本計画は進捗状況及び達成状況を管理するとともに、5年を目途に計画と実績との乖離の原因を分析し見直しを行うこととしており、この間の物価高騰や人口減少などの社会情勢を踏まえ、安全で安心な下水道事業を継続して運営していくため、本計画の中間見直しを行うものです。

第1章. 前半5年間（R3～R7）の進捗評価

◆投資計画の進捗状況

	当初 R1	中間見直し R7 見込み	目標 R12	評価
下水道(汚水)整備率	95.9%	99.1%	100%	○ 適正
高度処理化率	59.9%	70.1%	100%	○ 適正
浸水箇所解消率(西宇治)	21.8%	31.8%	80%	▼ 遅れ

➡ 雨水事業（貯留管整備）の一部に「遅れ」。その他の事業は「適正」

※前半の投資事業 計画 = 152 億円 → 実績 = 145 億円（▲7 億円）

◆財政計画の進捗状況

	当初 R1	中間見直し R7 見込み	目標 R12	評価
経常収支比率	100.4%	100%	100%以上	○ 適正
経費回収率	89.7%	96.5%	100%	○ 適正
人口接続率	87.6%	90.5%	95%	○ 適切

➡ 全ての項目で「適正」。一方で、近年の物価高騰に注視が必要

【前半5年間の評価・分析】

◆前半5年間は、「概ね計画通り」の投資・経営を進めた

- ➡「更なる治水対策の推進」のため、現在実施している貯留管整備の早期完成を目指す
- ➡「適正」と評価している指標についても、引き続き目標達成に向けて取組んでいく

第2章. 後半期間（R8～R12）の取組み

（1）投資計画

下水道事業をとりまく社会情勢の変化



- ◆ 能登半島地震や下水道管の破損に起因する道路陥没事故の発生に伴い、下水道施設のライフラインとしての重要性が改めて認識される

これからの取組み方針

安全で安心な下水道事業の運営を
将来にわたり継続して事業を推進する

投資事業のポイント

◆管渠（污水）

老朽化対策の推進と強固な施設の構築

48 億円 →
(+約11億円)

- ・デジタル技術を活用し、管路の点検調査をスピードアップ
- ・管路施設の延命化と上下水一体での耐震化の促進

◆東宇治浄化センター

污水処理の根幹となる重要施設・安定した運転の維持

47 億円 →
(+約 16 億円)

- ・水処理施設の高度処理化（5池・7池）の早期完成
- ・処理場は污水処理の根幹を担う重要施設。引き続き、計画的な整備・更新工事の実施

◆公共下水道（雨水）

気候変動の影響を踏まえた治水対策を推進

44 億円 →
(+3 億円)

- ・雨水貯留施設（目川・堀池・半白）の早期完成を図り、更なる治水対策を推進
- ・近年の気候変動を踏まえ、市全域の市街地を対象に「雨水管理総合計画」を策定

後半5年間の投資事業費 139 億円 (+30 億円)
→強固な施設整備の推進や物価高騰等の影響により、事業費が増加

(2) 財政計画

<収支の算定条件>

- 第6次総合計画と整合を図り、**処理区域内人口を「減少」**に見直す

	R8	R9	R10	R11	R12
処理区域内人口 (人)	173,601	172,297	171,195	169,902	169,002
有収汚水量 (m ³)	15,926,242	15,860,968	15,807,677	15,686,584	15,587,043

- 給食センター等の**大口事業者の新規接続による使用料収入を反映**

下水道使用料が
約6億円の増収

- 現在の社会情勢の変化として**物価や人件費、金利の上昇率を反映**

項目	策定時	中間見直し	備考
物価の上昇	0%	2.0%	日本銀行が示した物価安定の目標指数
職員給与の上昇	0%	2.17%	人事院勧告(3ヶ年平均)
金利の上昇	0.3%	2.7%	地方公共団体金融機構の利率(R7.10)

物価等の上昇により
収益的支出が
約24億円の増加

<今後5年間の収支>

◆ 収益的収支

区 分		年 度					合計 R8~R12	当初計画か らの増減	
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度			
収益的 収 入	下 水 道 使 用 料	2,718	2,786	2,777	2,757	2,740	13,778	620	
	雨 水 処 理 負 担 金	244	314	326	344	357	1,585	626	
	他 会 計 補 助 金	1,037	1,011	1,076	1,156	1,236	5,516	1,233	
	国 庫 補 助 金	0	0	0	0	0	0	△5	
	長 期 前 受 金 戻 入	1,711	1,730	1,748	1,777	1,792	8,758	△36	
	そ の 他	13	13	13	13	13	65	10	
	収 入 計	5,723	5,854	5,940	6,047	6,138	29,702	2,448	
	収 益 的 支 出	職 員 給 与 費	200	204	208	214	218	1,044	△31
		経 費	787	800	816	832	860	4,095	124
		流域下水道維持管理負担金	713	725	739	753	767	3,697	685
		減価償却費・資産減耗費	3,419	3,480	3,519	3,579	3,615	17,612	203
		支 払 利 息	592	633	646	657	666	3,194	1,452
		そ の 他	2	2	2	2	2	10	△10
	支 出 計	5,713	5,844	5,930	6,037	6,128	29,652	2,423	
	経 常 損 益	10	10	10	10	10	50	25	
	特 別 損 益	△10	△10	△10	△10	△10	△50	△25	
	当年度純利益(又は純損失)	0	0	0	0	0	0	0	

一般会計繰入金は支払利息の
増加等に伴い、約18億円の増加

☞ 収益的収支のポイント

本計画期間(～R12)において、収支均衡が見込まれる

◆資本的収支

(百万円)

区 分		年 度					合計 R8~R12	当初計画か らの増減	
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度			
資本的 収支	資本的 収入	企 業 債	2,866	1,716	1,717	1,554	1,381	9,235	2,370
		他 会 計 出 資 金	512	438	400	470	390	2,210	△761
		他 会 計 補 助 金	227	209	189	177	110	912	△16
		国 庫 (府) 補 助 金	944	1,033	1,123	897	743	4,740	170
		収 入 計 (A)	4,549	3,396	3,429	3,098	2,624	17,097	1,763
	資本的 支出	建 設 改 良 費	3,926	2,896	2,958	2,597	2,276	14,653	2,715
		うち 職 員 給 与 費	132	135	138	141	145	691	△69
		企 業 債 償 還 金	2,415	2,337	2,327	2,383	2,247	11,709	△719
		そ の 他	2	2	2	2	2	10	△10
		支 出 計 (B)	6,343	5,235	5,287	4,982	4,525	26,372	1,986
不足額(B)-(A)		1,794	1,839	1,858	1,884	1,901	9,275	223	

- 下水道整備の拡大時に借り入れた企業債の償還終了などにより、当初計画よりも元金償還が約7億円減少

◆一般会計繰入金

(百万円)

区 分		年 度					合計 R8~R12	当初計画か らの増減
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度		
収益的収支分		1,281	1,325	1,402	1,500	1,593	7,101	1,859
資本的収支分		739	647	589	647	500	3,122	△777
合 計		2,020	1,972	1,991	2,147	2,093	10,223	1,082
内、汚水分		1,776	1,658	1,665	1,803	1,736	8,638	456

- 一般会計繰入金の合計金額は、計画期間を通じて概ね横ばいで推移する見込み
- 汚水に係る一般会計繰入金については、当初計画よりも約5億円の増

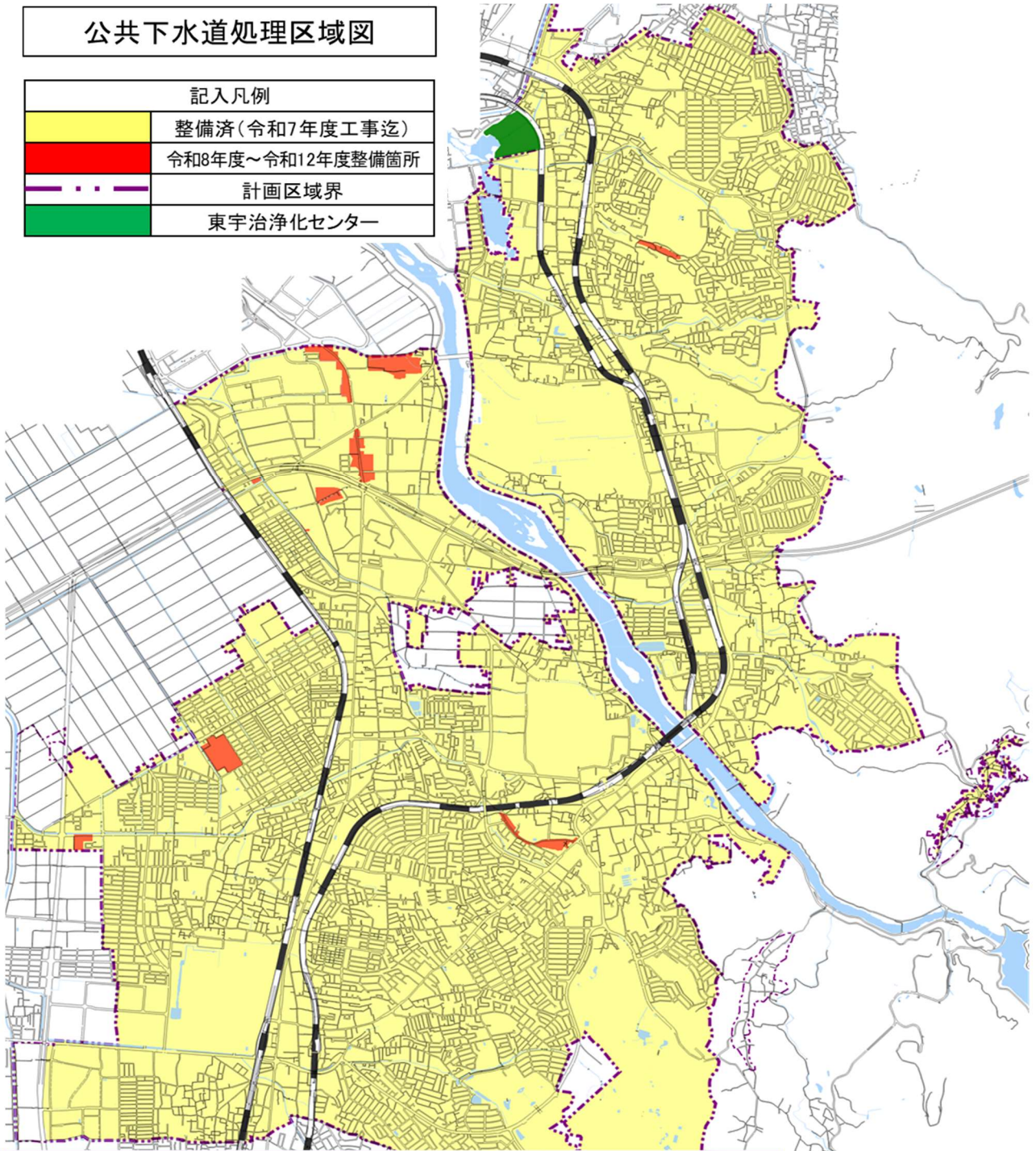
- **「強靱で持続可能な下水道施設の構築」を推進する**
- **「持続的・安定的な事業運営のため、経費回収率 100%」に向け、業務効率化・経営改善に向けた取組みを継続する**

- 今後、更なる物価高騰などの影響がある場合、適切な時期に適正な下水道使用料について検討する
- デジタル技術の活用や民間企業との協働による維持管理手法の見直しを進め、業務効率化を推進する
- 令和12年度に95%の人口接続率となるよう、引き続き普及促進に取り組む
- 前半5年間で行った組織再編や省電力化といった収支改善について、更なる検討を行う

(3) 整備計画

公共下水道処理区域図

記入凡例	
	整備済(令和7年度工事迄)
	令和8年度～令和12年度整備箇所
	計画区域界
	東宇治浄化センター

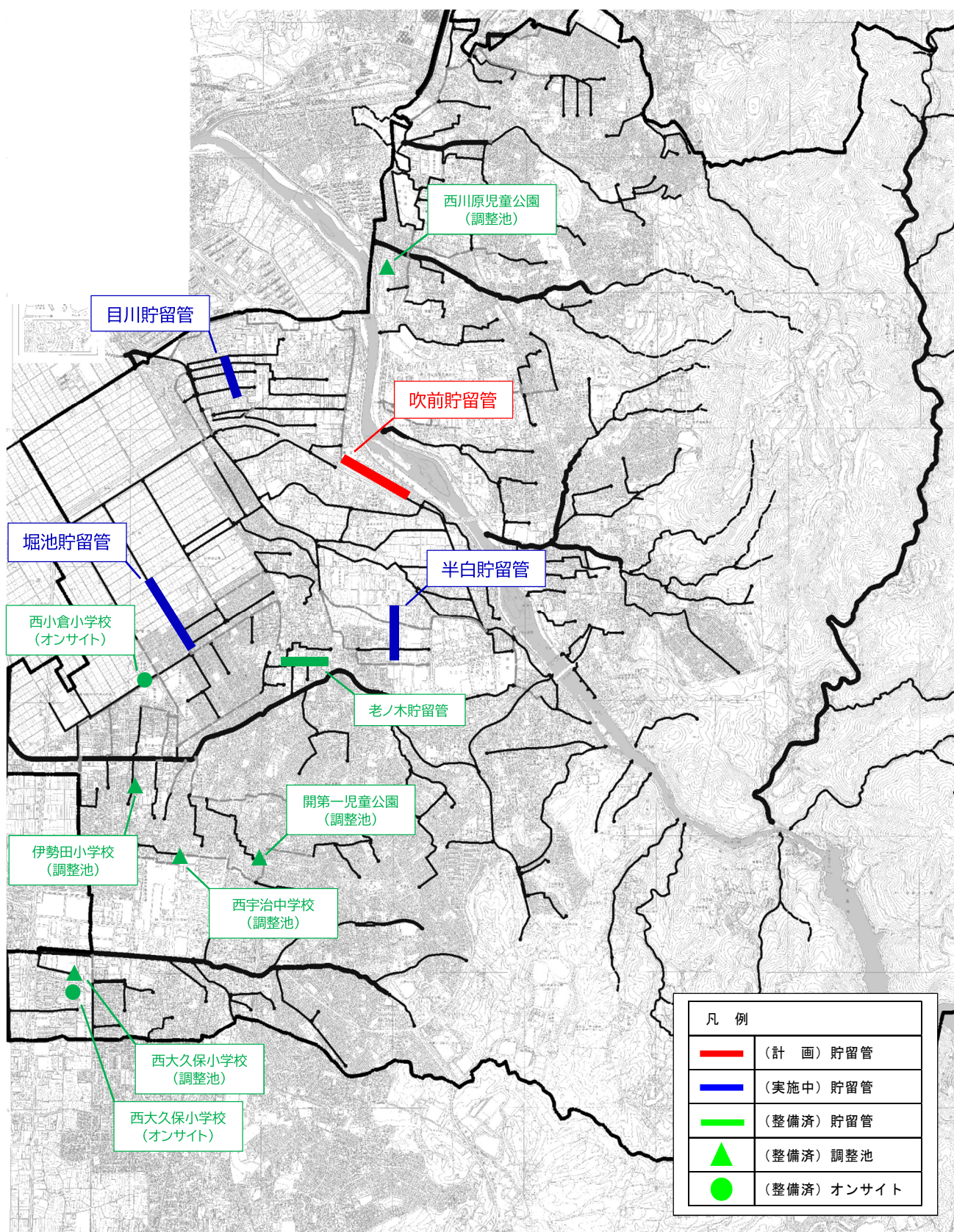


整備事業	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
管渠整備延長(m)	1,634	466	2,305	1,135	3,307
下水道整備率(%)	99.3	99.4	99.6	99.7	100

(百万円)

事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計	当初計画からの増減
管渠(汚水)	908	927	878	1,004	1,035	4,752	+1,070
東宇治浄化センター	1,026	1,114	1,012	800	783	4,735	+1,658

公共下水道（雨水）整備済み及び整備予定箇所



雨水管理総合計画（令和9年度末 完成予定）の策定後、整備箇所の見直しを検討する

(百万円)

事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計	当初計画からの増減
公共下水道(雨水)	1,886	700	910	635	291	4,422	+318

京都府宇治市

宇治市公共下水道

経営戦略 / 整備・再構築計画

中間見直し

〒611-8501 宇治市宇治琵琶 45-2

TEL 0774-20-8763

[作成年月] 令和8年3月

[作成・編集] 宇治市上下水道部